

令和 7 年度名古屋市子育て支援企業・女性の活躍推進企業
表彰理由一覧

1 子育て支援企業 5 社(区分ごとに五十音順)

区分	企業名	表彰理由
最優秀賞	大有建設株式会社	<p>育児に関する社内アンケートの実施や社員等で構成するワーキンググループを開催し、積極的に社員の声を取り入れる姿勢がある。また、育休開始から 10 日間の給与保障、子の看護休暇・育児短時間勤務を子の中学校就学始期まで延長、時差勤務など様々な制度を整備し、積極的に子育て支援に関する取り組みをすすめている。</p> <p>その結果、男性の育休取得率が 80%超を達成し、男女ともに仕事と子育てを両立しやすい環境が整備されている。</p> <p>地域貢献についても、多数のインターン生の受け入れや職場見学の実施を始め、様々な取り組みを行っていることも評価でき、子育て支援企業として模範的な企業といえる。</p>
優秀賞	株式会社あいち銀行	<p>多様なメンバーで構成されるダイバーシティ推進委員会（通称：あいちーむ）を設置し、行員の声を取り入れる仕組みが整備されている。</p> <p>男性社員の育休取得推進のため、トップメッセージ「男性育休 100%宣言」が発信されており、産後パパ育休は保存有給休暇を 10 日まで充当可能とするなど法定を上回る対応となっているほか、育休復帰支援では、育休中はパパママ復職支援セミナーを託児付きで開催し、復帰直後は復帰時研修として、ならし期間を 5 日間設けるなど、育休取得者の声を取り入れた手厚い配慮がされている。</p> <p>多様な人材が安心して働き続けられるよう配慮された様々な取り組みが全方位的に実施され、企業全体で子育て支援を推進していく姿勢が評価できる。</p>

優秀賞	株式会社サンゲツ	<p>テレワーク制度のフレキシブルな運用、フレックス制度のコアタイム廃止や時間有給休暇制度導入等、柔軟な働き方を可能とする制度が整備されている。</p> <p>男性社員の育休取得促進に向けては、取得日数が少ないなど形式的な取得にならないように配慮するため、管理職への研修を実施するほか、出生時育休の5日間と、配偶者出産休暇も有給化するなどして、2週間の育休取得率100%を達成しており、男女ともに仕事と子育てを両立しやすい環境が整っている。</p>
優秀賞	株式会社デンソークリエイト	<p>短時間勤務制度を子の小学校卒業時まで利用可能としたり、残った有給休暇を積み立てて子の傷病時等に利用できるやすらぎ休暇という独自制度を設けるなど、積極的に子育て支援の取り組みをすすめている。</p> <p>育休を取得することによるキャリアへの不安を軽減するために、長期的なキャリア支援の啓発活動を実施した結果、男性社員の育休取得期間が平均3ヶ月程度となるなど成果に繋がっている。また、所定外労働時間が多くなりがちなソフトウェア開発業務であっても、特定の社員に残業時間が偏らないように配慮しており、全社員が能力を最大限発揮し、柔軟に働き続けられる環境を作っているという姿勢が評価できる。</p>
優秀賞	マックスバリュ東海株式会社	<p>育児休業は3歳に達する前日まで、短時間勤務は中学校就学前まで取得可能など、高水準な子育て支援制度が整備されている。女性社員が短時間勤務をしながら店舗の店長を務めている事例もあり、スーパーバイザーのフォローや職場への理解促進など職場全体で子育て世代を支援する体制となっており、仕事と子育てを両立できる環境が整っている。男性の育休取得は、管理職に率先して取得するように促した結果、市内店舗での取得率100%を達成している。</p> <p>地域貢献についても、スーパーマーケットという業務の特性を活かして、地域の食材について理解を深めるイベント「わくわくじもの体験」など積極的な取り組みをすすめていることも評価できる。</p>

2 女性の活躍推進企業（区分ごとに五十音順）

(1) 企業部門 2 社

区分	企業名	表彰理由
最優秀賞	株式会社丸天産業	<p>“人”を大切にする企業理念のもと、女性活躍推進を経営課題として位置付け、女性管理職比率の向上を目指し、目標値を上回る 40%を達成した点は高く評価できる。女性管理職の増加を契機に、働きやすさの向上や職場環境の改善が進み、すべての従業員が仕事と家庭を両立しやすい職場風土の醸成につながっている。</p> <p>また、子連れ出社を可能とする柔軟な働き方の導入や、共働き夫婦を対象とした研修の実施など、先進的な取組を積極的に展開している。さらに、自社にとどまらず、他社も参加可能な研修や交流の場を設けることで、地域全体に女性活躍推進の取組を広げるなど、本地域を牽引する役割を果たしている。</p>
優秀賞	マックスバリュ東海株式会社	<p>トップ自らの発信やイクボス検定の実施、管理職向け研修を通じて、性別にかかわらず誰もが活躍できる職場づくりの重要性を、組織全体に着実に浸透させていることが高く評価できる。</p> <p>また、女性従業員を対象とした勉強会の開催による意識醸成に加え、継続的なフォローアップを行うことで、女性管理職数の着実な増加につながっている。</p> <p>さらに、短時間勤務制度や、ライフステージに応じた柔軟なシフト・配置を行うなど、男女を問わず育児休業からの円滑な復職と、その後のキャリア形成を支援しており、他企業の参考となる好事例である。</p>

(2) 従業員部門 1 名

区分	企業名	表彰理由
表彰	株式会社丸天産業 土方 亜紀	自社の営業職として初めて育児休業を取得した後、自社の中核プロジェクトのリーダーを務め、限られた時間の中でも着実に成果を上げてきた点が高く評価できる。 部下一人ひとりに寄り添い、成長を促しながら主体性を発揮できるよう支援するなど、自分らしいマネジメントスタイルを確立し、組織を牽引した。 また、女性管理職として仕事と家庭を両立しながら活躍する姿は、社内にとどまらず社外に対してもロールモデルとして好影響を与えることが期待できる。